一泉

発行所
〒921
金沢市泉野出町３丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話(0762) 42－0211
1993. 4.25発行

100周年特集号

一泉創立100周年記念祭 いよいよ日は近し!!

母校創立100周年も間近となりました。記念事業や10月14日～19日に開催される記念行事の準備は着々と進行しています。今回は米谷半平記念事業実行委員会委員長と澁谷亮治一泉同窓会会長にお話を伺いました。

澁谷　米谷さんは、一中創立50周年の時、５年生でいらしたそうですね。

米谷　そうです。昭和17年でしたが、10月15日から10日間ほど記念行事が行われました。もっとも戦時中のことですから、時局に呼応した行事が多かったように思います。同窓会からグライダーが寄贈され、その命名式（桜章一号）と滑走大会もありました。ところで、澁谷さんの中学生時代はいかがでしたか。

澁谷　私は50周年の年に入学し、２年から一中在籍のまま、名古屋陸軍幼年学校へ入学しました。敗戦で、８月末に復員して４年にもどり昭和21年３月、年限短縮により４年で卒業しました。

戦時体制の中での勤労動員とか、また転校者・引き揚げ者などの多い中学生活でした。

米谷　一泉同窓会結成の経緯について、お話し下さいませんか。

澁谷　金沢一中は、昭和23年の学制改革によって幕を閉じたのですが、明治41年に結成された同窓会は、閉校の時7,300名の会員を擁していました。一方、金沢一中の校地・校舎を継承して発足した泉丘高校ですが、昭和29年３月まで2,000名の会員を数える、泉丘高校同窓会を別に結成していました。この二つの同窓会の接近のきっかけになったのが「厳霜碑の再建」だといってよいでしょう。

厳霜碑は卒業生の戦没者を顕彰するために明治41年10月15日に建てられたもので、一中生の精神的支柱でありました。また、碑の完成を機会に、10月15日が創立記念日に定められました。しかし、敗戦により昭和22年１月、厳霜碑は学校によって自主的に撤去されました。昭和28年４月、同窓会関係者は種々協議の末、戦没者の慰霊碑ではなく、広く物故会員の慰霊碑とする方針を定め、泉丘校地内に厳霜碑が再建されたわけです。このことによって一中同窓生の中には、「失われた母校」のイメージを泉丘高校に求める動きが高まり、二つの同窓会の合併の呼びかけへと発展していったわけです。昭和30年２月関係者のご尽力により、両同窓会が合同合併し、「一泉同窓会」が結成されました。

いよいよ、100周年の年を迎えましたね。６年前から準備に取りかかり、平成２年秋に組織ができました。米谷さんは実行委員長としてご苦労も多かったと思います。

米谷　大きな事業ですから。事務局・実行委員の方々には大変苦労をかけました。しかし、４月３日の常任委員会でご了承いただいたように、各委員会とも詰めの作業を残すだけで、準備の大方は整いました。

ところで、私は、100周年の事業や行事は誰のためのものかという事で、つねづね考えていることがあるんです。折りにふれて話してきた事でもありますが、これは、同窓生や現在・将来の泉丘高校生のためのものであるのはもちろんですが、今

一つ、一中や泉丘高校を支えて下さった地域の皆様そして石川県民に還元できる記念事業・行事でありたいと思っているのです。

澁谷　私も全く同感です。ところで、100周年の基調テーマ"宇宙をめざせ、新しい世代のエネルギーに点火を"は夢のある言葉ですね。これはまた、伝統に培われて21世紀へと飛躍する泉丘高校の姿をあらわす言葉にもしたいものです。

米谷　ここで行事について、お話ししましょう。

10月15日の物故者慰霊祭、それに続く式典で記念行事は本格的に開幕となります。

式典後の講演会の講師は、大河千弘君（一中52期）にやってもらいます。彼は東大助教授から渡米し、当時「頭脳流出」とさわがれましたが、現在、アメリカのゼネラル・アトミックス社の副社長です。核融合研究の第一線で活躍しており、演題は「21世紀の展望」（仮題）となっています。

式典と翌日の音楽祭で発表される100周年記念歌の歌詞は、在校生からの公募で、3年生の井上晶子さんの「明日のI（アイ）」（大山修平教諭補作）が選ばれました。一泉をイメージした美しい詩です。

元泉丘高校長の宮崎光二君（一中54期）を中心に進められている記念フォーラムは、若者に刺激を与える場にしたいと企画しております。

記念美術展は、創立80周年を記念して結成された一泉桜美会が中心になって進めています。100周年にちなんで、大きな100号の作品に挑戦している方が少なくないと聞いております。

記念スポーツ大会は、運動各部の在校生とOBによる親善試合を開催することになっており、ゴルフ・コンペも行われます。

行事のメインに、記念展覧会を開きます。基調テーマに沿って母校の100年のあゆみと100年後の泉丘高校を写真・模型・パネル・ビデオなどで展示します。特に「100年後の夢の学園」は在校生より募集したもので、100年保管する事を考えています。また、100年前、一中創設当時輝かしく誕生した星の光を今見る100光年星のウオッチングなど、多数の県民・市民の方々の参加を頂ける話題性のあるものにしたいと企画が進められております。

澁谷　私は記念事業についてお話ししましょう。

まず第一は、次代の泉丘高生の育成のための「一泉同窓会基金」の設立です。事業の目的を次のようにきめました。「母校の国際交流の推進と、学術・スポーツ・文化の振興に資するため助成を行い、もって母校のより一層の発展に寄与する」こととし、初年度の基金の設定額を7,500万円としました。皆さんからの募金の半分をこれに充てることになっております。

次は、同窓会資料室と70周年記念図書館の整備・充実をやっております。この費用は同窓生の皆さんの募金のほかに、職員（現・旧）とPTA（平成2年度泉丘43期～平成7年度）から2,000万円の寄付を頂きます。

また、『同窓会名簿』・『百年史』を発刊をします。できるだけ多くの皆様にご購入をお願いしたいと思います。また、『人材マップ』の発刊準備も進んでおります。

米谷　100周年の事業・行事については、はじめはいろいろと議論がありましたが、母校に思いを寄せる同窓生の親睦、後輩の育成、そして一中・泉丘高校を支えて下さった地域の方々へのお返しという事を考えれば、この内容でよかったと考えております。

澁谷　母校創立100周年記念事業推進のため、先般来、同窓生各位に御芳志をお願いしましたところ、多くの方々のご賛同を得ましたことを厚くお礼申し上げます。また、この募金をお世話下さいました各期の委員のご苦労は大変なものであったと存じます。ありがとうございました。

100周年記念というの性格上、同窓生個々の総意を集めてこの事業を推し進めることに意義を感じているものでございます。会員各位のなお一層のご協力を重ねてお願い申し上げます。

一泉創立100周年記念事業募金状況一覧表

平成5年3月10日現在（単位千円）
○印は目標達成した期

卒業期	実　績	達成率%
一中~30	380	—
31	115	95.8
○32	1,180	786.6
○33	450	281.2
34	125	59.5
○35	305	203.3
○36	285	158.3
○37	217	120.5
○38	305	190.6
○39	530	100.0
○40	825	125.0
○41	957	147.2
○42	875	125.0
43	540	96.4
○44	892	123.8
○45	735	100.6
○46	1,088	125.9
○47	721	100.0

卒業期	実　績	達成率%
48	630	75.9
○49	1,200	121.2
50	1,990	87.2
51	1,900	81.8
52	1,980	80.1
53	2,030	84.5
54	1,960	54.7
○55	3,200	101.2
一高	520	16.8
一中・泉丘		
○56.2	2,200	125.0
○57・3	3,360	105.6
58・4	4,050	84.7
5	3,600	67.2
6	3,360	67.3
7	3,090	60.5
8	5,250	90.8

卒業期	実　績	達成率%
9	4,325	69.7
10	4,060	68.5
11	3,467	68.9
○12	4,970	102.8
13	2,741	53.0
14	3,420	66.5
15	2,912	56.5
16	2,640	62.8
17	2,870	50.4
18	4,317	76.5
19	2,811	54.7
20	2,200	44.7
21	1,493	42.2
22	1,120	35.3
23	1,430	46.1
24	1,840	58.4
25	1,295	43.0
26	600	20.5

卒業期	実　績	達成率%
27	1,100	38.7
28	700	24.6
29	910	32.5
30	690	24.2
31	970	68.3
32	405	28.5
33	270	18.7
34	500	31.6
35	346	21.6
36	400	25.0
37	200	12.5
38	335	40.8
39	407	45.2
40	375	38.2
41	465	52.2
42	628	70.5
○通信	3,000	150.0
合計	111,057	74.0

募金にいっそうのご協力を！

◎募金目標額　　1億5,000万円

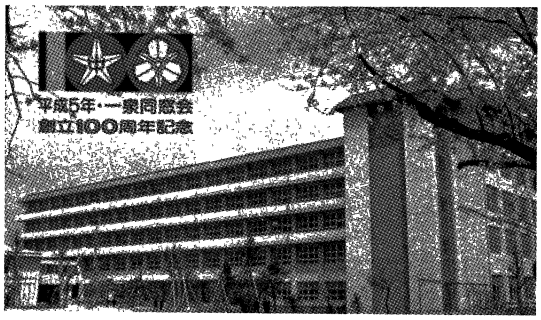
一泉同窓会基金設立事業　　7,500万円

100周年記念行事・事業　　7,500万円

100周年記念祭まであと5カ月となりました。記念行事・事業の企画は順調に進行しています。

募金については、一中の32・33期を初めとして、泉丘2・3・12期・通信制と、かなりの期が目標を達成しています。しかし、全体の目標達成度は74%、このままでは赤字となります。

各期常任委員・幹事の方は、目標完全達成に鋭意努力されています。そのご苦労をも推察いただき、まだ募金されていない会員の皆様には、ご理解をいただき募金にご協力下さいますよう心からお願い申し上げます。



募金の振込先は、各期指定の振込口座、または同封の「払込票」をご利用いただき実行委員会事務局までお願いします。返礼として記念テレホンカード（上写真）をお送りします。

なお、すでに募金をすまされた会員の皆様からも、さらなるご懇志を賜わることができれば幸甚に存じます。重ねてお願い申し上げます。

『一泉』で後日、募金者一覧を掲載予定です。

建築の綜合設備工事
（空調・給排水衛生・電気）
稲垣産業株式会社
取締役社長　石田外志郎
金沢市西金沢4丁目521番地　TEL（0762）49－7782
FAX（0762）49－7784

宇宙をめざせ、新しい世代のエネルギーに点火を!!

創立100周年記念祭　行事日程

記念行事	日時	会場	備考
物故者慰霊祭	10月15日(金)13時～13時20分	石川厚生年金会館 ☎(0762)22—0011	(12時30分までに入場して下さい) 物故会員5,000余名の追悼
記念式典	13時30分～14時50分		「一泉同窓会基金」の目録贈呈 100周年記念歌「明日のI」の発表
記念講演会	15時～16時30分		「21世紀の展望」(仮題) 大河千弘氏(一中52期)
記念パーティ	18時～	金沢東急ホテル ☎(0762)31—2411	会費　1万5,000円
記念フォーラム	10月14日(木)14時～16時	金沢市文化ホール ☎(0762)23—1221	「21世紀の文明と社会」(仮題)
記念音楽祭	10月16日(土)15時～17時30分	金沢市文化ホール	100周年記念歌・校歌・応援歌 合唱・ブラスバンド演奏
記念展覧会	10月14日(木)　9時～16日(土)～22時	金沢市文化ホール	「100年の回顧と21世紀への飛躍」「宇宙のロマンにみる人類の軌跡と展望」
記念美術展	10月14日(木)　10時～19日(火)～19時	香林坊大和8階 ☎(0762)20—1111	日本画・洋画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン等一泉桜美会会員を中心に130余名の作品展
記念スポーツ大会	10月14日(木)　7時～	ツインフィールズ泉丘高校	100周年記念ゴルフ・コンペ 在校生とOBによる親善試合

記念事業

「一泉同窓会基金」設立

『同窓会名簿』発刊

『百年史』発刊

同窓会資料室の整備・充実

『人材マップ』の発刊(協賛事業)

『百年史』・『名簿』について

別紙要領をご高覧のうえ、購入申し込みの方は同封のハガキに、また代金は、「払込票」によりお振込み下さい。

『人材マップ』について

・『人材マップ』の発刊を企画し販売します。
・『人材マップ』は企業・官公庁・大学等で活躍している方々を網羅し、企業別に紹介したものです。
・詳細は、泉丘8期の鈴木(0762-62-0188)または、各期常任委員にご照会下さい。

◈100周年記念行事・事業の最後のご案内となります

森川整形外科医院

金沢市横川6丁目107　☎41－2155(代)

"ともかく　いらっし　みまっし　よるまっし"

Q：一泉同窓生の総数は何名くらいですか。

A：一中55期（56・57・58期）・一高・泉丘45期・通信。延べ２万9,800名です。

Q：同窓会員の分布状況はどうですか。

A：石川県が圧倒的多数ですが、47都道府県すべてに分布しています。下表は県別会員分布ベスト10。海外在住者も219名います。

石川	11,949	埼玉	592
東京	2,141	愛知	572
神奈川	1,370	兵庫	523
大阪	834	富山	486
千葉	737	京都	351

Q：金沢はかわりましたか。

A：「ふるさとは遠きにありて思ふもの」

などといわず、

"ともかく　いらっし　みまっし　よるまっし"

「朋遠方より来れること有り」

同期生の家に泊るのもよし、お待ちします。

Q：ホテルの予約申込みはできますか？

A：北国観光㈱がお世話します。

〒920 金沢市香林坊２－５－１

(0762)63－3441(担当 杉本・相川)

Q：石川厚生年金会館はどこにありますか。

A：兼六園球場跡地にあります。会館から広坂方面へ歩けば、左手にレンガ建ての兵器庫３棟。戦後は美大校舎、現在は歴史博物館。金沢女専（女子短大・高校）跡地には美術館。脇の急な石段を降りれば、一中本多町校舎跡地。創立80周年記念に建てられた「櫻章校跡地」の石碑があります。

右に能楽堂・成巽閣・兼六園をみて坂を下れば広坂通り。

"ともかく　いらっし　みまっし　よるまっし"

Q：式典に出席したいのですが。

A：会館の収容人員は1,700名。来賓・在校生・同窓生が出席します。座席に限りがあります。出席希望者は５月末日までに、各期常任委員に申し込んで下さい。

Q：金沢東急ホテルはどこにありますか。

A：香林坊再開発ビルの中にあります。広坂から下ってきたＴ字路の突き当り、かつて松竹座やスカラ座のあった一画です。仙宝閣や英安吉初代一泉同窓会会長の店のあった区画に宮太郎前会長の香林坊大和があります。

Q：15日の東急ホテルでのパーティーは？

A：会費1万5,000円。18時開宴予定（受付開始は17時）。椅子席は250、あとは立食。1,000名の出席が可能です。東・西・主計町の綺麗所も揃います。出席希望者は５月末日までに各期常任委員に、通信制は泉丘高校通信制へ申し込んで下さい。

Q：金沢市文化ホールはどこにありますか。

A：高岡町中学校の跡地にあります。香林坊から徒歩３～４分。尾山神社・北国新聞社との三角点にあります。

Q：一般市民は参加できますか。

A：もちろんです。フォーラム・音楽会・展覧会・美術展など、地域の方々に広く声をかけ、お誘い合わせ多数ご参加下さい。

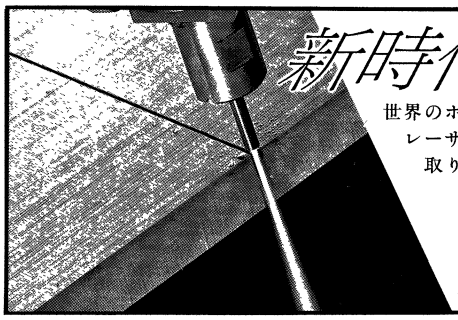
展覧会は2,000万円という突出した予算で企画されています。乞御期待！

Q：泉丘高校では記念祭はないのですか。

A：センター試験等の関係で記念祭は９月上旬に行われます。その折、本多町校舎跡の栂の木のところから泉丘高校まで約4.5キロの道程を1時間半かけて〝一泉行列〟が行進します。

Q：90周年に完成した新校舎を見学できますか。

A：できます。別表の日程で運動部のＯＢ会も開催されます。



新時代のフロンティア

Shibuya

世界のボトリングシステムのリーダーとして活躍してきたシブヤは、
レーザ、半導体製造装置分野に進出するなど、積極的に最先端技術を
取り入れ、未来産業の創造に邁進しています。

澁谷工業株式会社

本社 〒920 金沢市大豆田本町 ☎(0762)62-1201

取締役会長　澁谷 亮治　取締役社長　澁谷 弘利

Q：記念スポーツ大会で、ゴルフ・コンペがあるそうですが？

A：10月14日㈭7時スタートです。参加費5,000円、プレー代は各自負担。7月1日㈭受付開始で、先着200名で〆切ります。

参加希望者は、ハガキに住所・氏名・電話番号・生年月日・卒業期を記入の上、下記へ申し込んで下さい（各期でまとめて申し込みも可）。

申込先　〒923 小松市里川町1番地
ゴルフクラブ・ツインフィールズ
（0761）47—4500（担当赤土）

Q：一泉同窓会事務局はどこにありますか。

A：泉丘高校の70周年記念図書館内にあります。

ＰＴＡ（43期～平成7年度）と学校職員・旧職員の募金2,000万円と同窓会の500万円で、3月から冷暖房工事・机・椅子・書架の整備が始められました。充実のためには費用不足です。募金が目標を上まわれば追加予算が可能かもしれないということです。何時でもお立ち寄り下さい。

Q：泉丘高校校門フェンスに100周年の帯看板が

掲げられたそうですが。

A：100周年をアピールするためです。また、4月1日に泉丘高校へ着任された小西優校長は、泉丘5期の同窓生です。4月3日の常任委員会の席上、100周年の節目に着任できた喜びと「次の100年を目指して伝統の名門校として歩んでいきたい」と抱負を述べられました。学校・ＰＴＡ・同窓会が一体となって10月15日の創立100周年記念祭に向けて邁進しています。

〝ともかく　いらっし　みまっし　よるまっし〟。募金の方もよろしくお願いします。

運動部ＯＢ会開催日程

相撲部（白水会）	5月29日㈯	18時30分　玉寿し・5月30日㈰　高校相撲金沢大会応援
サッカー部	8月8日㈰	13時　泉丘高校グランド
バスケットボール部	8月13日㈮	13時　泉丘高校体育館　18時　シティモンドホテル
ハンドボール部	8月14日㈯	13時　泉丘高校グラウンド　18時　野々市太平寿し
水泳部（泉泳会）	8月16日㈰	14時　泉丘高校プール　18時　厚生年金会館
剣道部（剣友会）	10月16日㈯	12時　泉丘高校講堂　総会・講演会（戸部新十郎氏・一中51期） 合同稽古　18時　スカイホテル
陸上競技部	10月16日㈯	16時　会館加賀
バレーボール部	10月17日㈰	13時　泉丘高校体育館　18時　ニューグランドホテル
野球部	6月20日㈰ 8月上旬 8月13日㈮	10時・13時30分　泉丘高校グランド 母校野球部激励会　泉丘高校と八尾高校との交歓試合 金沢市内野球部ＯＢ大会出場 総会　18時30分　郵便預金会館

54期 **東京朱木会**

事務所　東京都杉並区下井草4-24-14
氷田正男　外一同

新・新

ちょっといい話（続）

一中41期（昭和9年卒業）南　秀男

三谷のバカチュウ先生

名物先生の多かったその頃、つまり昭和一桁時代の先生の中でも一際目立った方に「バカチュウ」こと三谷仙太郎陸軍中尉先生が居られた。ピンとした髭が鼻の下にあって、生徒と同じ黒の詰め襟に学帽のスタイルだったように思う。

日清戦争に出征したことが自慢で、体操（教練）の時間には必ず一つか二つのバカ話があり、キメキメの口調であり乍らどこかトボけたところとヌケたところがあり下級生にとって先生の授業は楽しかった。

バカ中（バカ中尉の略か？）とは渾名の傑作だと思う。先生には幾つかの爆笑ものがあるがその中の秀逸を一つ。

学校記念日の講堂での堅苦しい校長の講話が終って、さてこれから生徒は各教室へ帰るその号令がバカ中先生から出る幕となる。

「これからマンジョウ（満場）の諸君にマンジョウ（饅頭）を与えるから教室で待っておれ！」

そう言えば記念日に紅白の饅頭があたったナア。

個性的な学友たちの楽しい話

在学中1日も休まず卒業式に精勤賞を貰った者が11名、その中今残っている者が僅か4名。

早逝した小森順一君もその中に入っているが彼の場合は6年間精勤であり開校以来の新記録。俺は6年間の皆勤でお前達と値打ちが違うと威張っていた。校訓七則を基本として訓育指導の厳しかった伊藤校長時代、彼は素行面でなく成績の方で4年の時ドロップして6年間在学した筈。

『エロに注意』!?

奥田良士君は謹厳な教育者（お父さんが初代の七尾中学校長）の家に育ったが多分に茶目っ気な男だった。当時誰も持っていないパーレットなる写真機を持っていた。憧れのマドモアゼル本多男爵の巳智子姫がセカンドの4年生で、彼女の下校時になると運動場の金網にぶら下って悪童連がワイワイひやかす。奥田君が本人の知らない中にフォーカスした写真を掲載する。

本多巳智子さんと女官の内田須美子（歯医者の娘）さん・上野英子（鉄砲屋の娘）さん

土塀の連なる本多町の道路が懐かしい。そう云えば運動場に出る裏門のところに『左右に注意』と書いた貼り紙がしてあった。悪童連の誰かが墨を持ってきて『ナ』のところを塗り潰してしまった。後には『エロに注意』…の貼り紙が春風にヒラヒラ。

『桜美』
一泉桜美会20周年記念誌発刊

母校創立80周年を期して発足した一泉桜美会は全国的にも珍らしい〝美の同窓会〟として発展している。平成4年9月大和デパートで20周年記念美術展を開催し、一泉桜美会20年記念誌『桜美』を発刊した。会員名簿と同会20年の歩みをスナップ写真で綴った斉藤弥吉氏（一中49期）の手づくりの味の出た労作である。

表紙はミロのヒーナス像

医療法人社団隆整会
川北病院
院長　川北　篤
金沢市野町1丁目3番55号　☎41－8351(代)
☎47－1122(入院患者呼出し専用)　FAX 41－8398

同窓生の集い

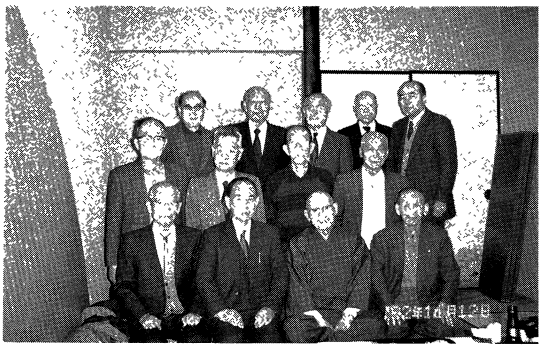
〔一中39期(昭和7年卒業)七桜会地元例会〕

平成4年5月15日に一中卒業60周年全国大会を開催し29名の往年の美少年が出席し盛会であった。半年を経た11月12日、シティモンドホテルで地元学友13名が集まりて語り合う。

ブラジルに渡った柿木（沢田）他家雄君が60年振りに初めて帰国するとの情報を得て、彼の弟さんと連絡し七桜会の会合を準備した。齢80に達し、墓参と故国に働きに来ている子供達に逢うための帰国という。奥さんと長男の嫁との3人で、東京・千葉・大阪・広島・島根・金沢を廻ったが、今浦島の如くであるという。

彼は一中卒業後新しい進取の意気に燃えブラジルに渡り、コーヒー栽培や開拓事業につとめた。7人の子供に恵まれ、初めはサンパウロにいたが現在はサンペドロ市に居住し、今では農業をやめて年金生活に入っている。

彼は60年の環境の違う生活で日本語は殆んど忘れ、長男の嫁の通訳で国内を旅していた状況らしい。金沢へ10月15日に着き5日間居たが、金沢市中を案内しても、記憶にあるのは兼六園だけとのこと。老化も伴い記憶力は相当減退していた。七桜会の写真や名簿を渡したが全然判らぬ様子であった。一中時代の記憶も殆んどなく、七桜会の会合も残念乍ら出来なかった。



地元例会では柿本君や学友の消息、一中100周年記念事業の概要等を語り楽しい一時を過ごし散会した。（山瀬芳男記）

〔一中40期(昭和8年卒業)八桜会全国大会〕

八桜会は毎年かかさず全国大会を開催して来ましたが、平成4年は地元山中温泉よしのや依緑園で10月6日、関東・関西から多数の参会を得て、賑かに開催されました。紅葉にはまだ早かったが好天に恵まれて、お互に久濶を叙しつつ、蟋蟀橋から鶴仙渓へと散策に時を過した後、宿に帰って一風呂浴びてから、いよいよ大広間で宴席につきました。

開宴に先だち、本年6月他界された三谷実君を初め多くの亡友の冥福を祈り黙禱を捧げました。僅か一分間ではあったが、平常頭から離れていた今は亡き人々の面影を偲んでいると、冥界との魂の交流が出来た思いがして一同清々しい気分となったのであります。

そこで、地元を代表して福田尚造幹事（金大名誉教授）の滋味あふれる歓迎の挨拶があった後、関東勢を代表して久しぶりに出席した森田正典君（旧ＮＥＣ専務・工博）の丁重な謝辞と続き、更に関西代表の八十島健二君(元竹中工務店副社長)のユーモアたっぷりの乾杯の音頭によって、いよいよ宴は始まりました。福田幹事の正調山中節を皮切りに、カラオケ演歌も続出し、遂には誰からともなく「雲に聳ゆる白山の……」

一中校歌の大斉唱が大聖寺川渓谷をゆるがしこだましたのであります。嘗て、恩師鏑木勢岐先生が、昭和天皇行幸の折ご宿泊所となった当よしのやに於て県史についてご説明申しあげた（福田幹事の説明）という、山中一の由緒ある旅館だけあって、サービスといい料理といい誠に行届いていて一同満足した次第です。

加賀マルタみそ本舗
北陸味噌販売株式会社
代表取締役　松本　進
〒921 金沢市泉2丁目22-1 ☎(0762)43—3240

翌朝も亦、素晴しい上天気で、ゴルフに行くグループ、久しぶりに名園旧跡を観光に行くグループまたは故里の墓参に行く人など、皆楽しい思い出を持って愉快に散会となりました。来年は、母校の100周年記念祭に合せて再び地元に集まろうと、自愛と健闘を誓い合った次第です。幹事の小堀・福田・箕打3君ご苦労さまでした。参会23名。

(関東)田中正能　谷内　上　森田正典　渡辺六郎
(関西)勝木竜猪　坂伊之助　千田民夫　橋本俊一
　　八十島健二
(富山)沖野永光　地元金沢　13名　(大沢正夫記)

〔一中41期（昭和9年卒業）全国大会〕

平成4年10月21日、全国大会で毎回集合場所としている本多町公園（一中上の運動場跡）に、会場直行者の13人を除き同期の諸兄が三三五五と集まり、互いに久闊を叙しあった。予定の19人が集まったので、貸切バスで会場の山代温泉加賀屋宝生亭に向った。

直行組も次々に到着し参加予定者32人全員がそろった。一昨年の大会と同じ山代温泉が会場でしかも今回は参加を積極的にすすめなかったので、参加人員の減少を危惧していたのであるが一昨年と同じ人数の参加で、世話人一同ホッとした次第である。牧沢世話人挨拶のあと、県外在住者の近況報告を聞き互いに健康を喜び合った。

記念撮影後の懇親会では、南（秀）世話人の軽妙な司会で会のムードは弥が上にも盛り上った。特に同君紹介の美人ママ志摩裕美子さんの特別参加は会に一層の彩りをそえた。最後は〝南征の調〟で宴を締めくくり、後はめいめい思いのままにすぐ寝る者、お喋りを続ける者、お手伝いさんの案内でお楽しみの処へ行く者等々久し振りの再会の感激を味わい一夜を過した。

翌日は毎大会のような行事を行わず、朝食後は解散ということであったが、殆んどの者は大和デパート裏の仙石通りまでバスに同乗、大会の余韻を楽しんでいた。参加者は次の通り

青木　伊佐　畝村　北本　岸原　小泉　越田
近藤夫妻　重田　杉田　須田　高岡（精）　武
内　田中（喜）　飛世　西田　野上　野崎　登
番　藩　平石　牧沢　牧野　水本　南(秀)　三
浦　八十島　矢部（睦）　山口　芳田
特別参加　志摩裕美子　　(牧沢善二記)

〔一中41期(昭和9年卒業)関東桜章会〕

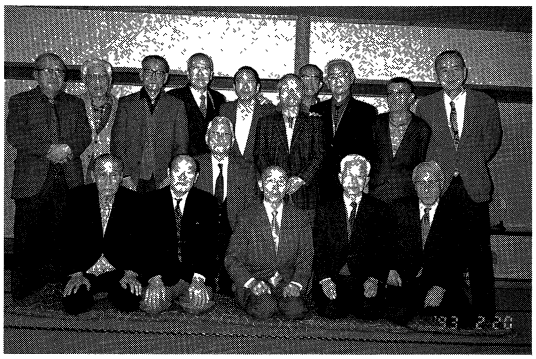
金沢一中昭和9年卒業第41回生の我々にとっては、今年は人生の一つのけじめとも言われる古稀の歳を迎えるのです。人生わずかに50年と言われた昔の時代を振り返って見ますればまるで嘘のように実に長く生きたものと思います。互いに机を並べて競い合った友の多くは戦火の中に消えて行ってしまいました。同窓会の名簿を見る度に戦死、戦死と書いた欄には胸をしめつけられる想いです。

互いに此処まで生きて来て私達は何時迄も友で

あなたの健康をサポートします！
株式会社 ニシナガ商会
〒921 金沢市東力2-148-1 ☎(0762)92—1288(代)

あり心の寄り処であるのだ。そんな意味で私達他所に住む人間もその場所その場所に同期の桜ならぬ同窓会を開いて親交を重ねています。さる2月20日我々関東在住の同窓会別名関東桜章会の新年会を東京都内大塚駅附近の料亭で開きました。此の話を聞いて遠く北海道の札幌から、そして古里金沢から100周年記念事業の情報を持って駆けつけてくれました。遠い札幌から飛んで来て呉れたのは鬼頭仁也君、金沢の地から来てくれたのは南秀男君で、二人の厚い友情には唯々感謝の言葉もありません。南君は今度の創立100周年事業のあらましを説明してくれました。必ず今秋の記念事業には参加したいと言う気力を出席の皆んなに植えつけた事でしょう。

飲む程に酔う程に昔の懐かしい金沢弁が出て来て談笑の渦の輪が広がって行くようでした最後にあの若き日の金沢一中の応援歌、南征の調が唄われました。16名全員が起立して過ぎ去った遠い若き日の情熱を今一度胸に蘇らせて唄いました。古寿を迎えた老人の声とは到底考えられない若々しい雄叫びでした。東京の夜空にこだまする声にさそわれてか美しく輝く星が一つ静かに流れて行きました。遠い遠い北の空に向って（杉田正　記）



前列右より天野真佐雄　谷村弘　鬼頭仁也　南秀男　南丁巳知　中段　杉田正　後列　野田茂　山岸智十郎　重田周蔵　野上彦三　梶本義男　藤井三郎　北本一平　須田正春　山口杜義　田中喜良

〔一中42期（昭和10年卒業）十桜会全国総会〕

金沢一中を昭和10年に卒業した我々42期生は（十桜会と称す）毎年秋に北陸と関東の両地区で交互に総会を開いて懇親を深めておりますが、本年は神奈川県箱根町にある湯本温泉〝箱根路開雲〟（東京都の施設）に於いて10月15日㈭～16日㈮の両日、第21回目の総会を開催した。平成元年に続いて2度目の会場である。

恩師藤田先生ご夫妻を初め、全国各地から集った者36名。総会は15日午後5時から始まり、この1年間に亡くなられた4名の会員のご冥福を祈って黙禱を捧げた。次いで議事に入り、梶川会長の挨拶、各地区即ち関東（古沢）、北陸（諸江）、関西（玉村・酒井）、中部（沖野）の代表から夫々会員の消息が報告された。欠席者の多くは健康が思わしくない方が過半数であり、中には病臥、或いは入院中の方もあり、1日も早いご回復を切にお祈りした次第です。室木弥太郎兄が今春勲三等旭日中授章に叙せられた事、梶川会長が5月に『医療を探る』の力作を出版された旨の紹介があり、会長から出席者全員に1冊づつ配布されて一同お祝い申し上げた。

写真撮影の後、懇親に移り藤田先生のご挨拶、乾杯に始まり、1年振りに会う人、久し振りに顔を合わせる仲間等々話に花が咲き更にはカラオケに興ずる等、終了後も各自の室に移って夜の更けるまで楽しい一時を過ごしました。

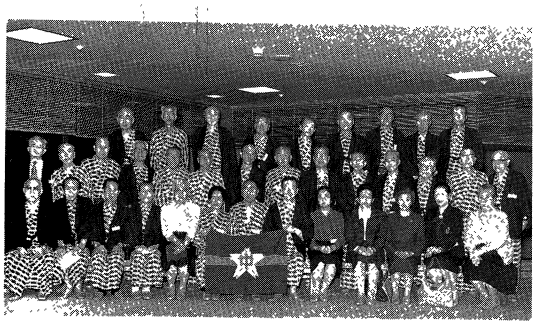
翌16日は朝食後総会を再開し、来年の母校100年祭に参加するに合わせて総会を金沢近郊で開くこととし色々の案が出されて審議した。北陸地区幹事より湯涌温泉、鶴来の千丈温泉等を候補に上げている旨話が出て細かい事は北陸地区にて決定してもらうことで総会は終了した。

10時頃から箱根周遊のバス旅行に出かけて色づき始めた箱根の紅葉を眺めながら楽しい1日を過ごした。特に強羅の〝彫刻の森〟を散策し、元箱根の寄木会館に立寄り寄木細工の製造工程を観賞

株式会社　吉川喜商店

取締役社長　吉川　正美

金沢市湊2丁目107　☎(0762)38—9395

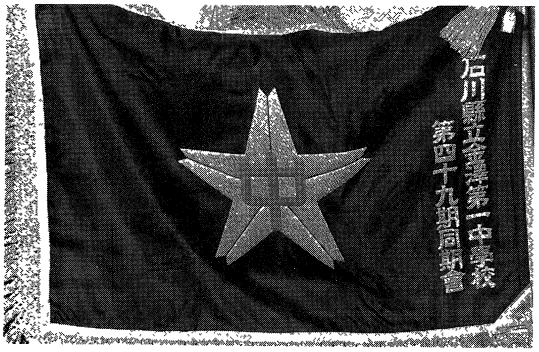


出来たのは興味深いことでした。15時近く小田原駅で解散したが、前日の雨も晴れ上り、終日好天に恵まれたのは幸いでした。出席者は次の通り。

藤田先生ご夫妻　梶川会長夫妻　石田勝雄夫妻　今井国男　上島外二　雄谷重夫　沖野永保　葛西満　久間賢三　久保木信夫　鴻野五八　小泉甚三　駒居三郎　酒井正　坂部重之　坂本六郎夫妻　清水昇三　高畠有幸　玉村文雄　中谷郁夫　中谷外作　西村忠恭　舟田一雄　古沢英雄　諸江敏夫夫妻　山内亮　山本欽一　久保田全俊夫妻　井口千里（故井口鉄男夫人）　吉田道子（故吉田正一夫人）　（久保田記）

〔一中49期（昭和17年卒業）卒業50周年記念同期会〕

大正ロマンを代表する竹久夢二が曾て遊んだ出湯の里として、また戦後占領下の米軍の高級慰安施設として有名な金沢市近郊の湯涌温泉。当地の湯の出旅館を全館借り切りとし、昭和17年に卒業した49期生の卒業50周年記念懇親会を開催した。時に、平成4年9月11日。



特記すべきは100万円を投じ、49期生の標旗を校旗に模し記念作成したことである。煩い雀は一番先に立ててもらうのは誰かとひそひそ話。10年前、山中温泉での40周年の出席者で物故された人は5名。中に名物男小川忠男氏あり。特に40分をかけて語り合った。

生き残り130名中申し込み65名、出席55名。県外より21名、50年振りが7名とで賑やかであった。次回の希望を取ったら、10年後は厳しい。5年後の卒業55周年に、場所はやはり古里が良いと決まった。　（常任委員　齋藤弥吉記）

第12回関西一泉同窓会開催

関西一泉同窓会では平成4年6月6日㈯午後2時から大阪ビジネスパーク松下ＩＭＰビル26Ｆパノラマビアレストラン「アサヒ」で第12回総会を開きました。当日は金沢から船登芳雄校長、100周年記念事業担当の大門重樹氏ら来賓、会員、家族ら150余名が出席しました。泉丘16期田中義嶽氏の司会で、まず八十島健二会長（一中41期）が「伝統の一中・泉丘スピリッツを何時迄も持ち続けて大いに頑張りましょう」と元気潑剌たる挨拶をされ、続いて船登校長より母校の近況報告、大門氏から100周年記念事業に向けての経過報告がなされました。懇親会は一中31期の小島鋼氏の86歳とは思えぬ若さに満ちた乾杯の音頭で始まりました。今回初めて各期毎にテーブルを分け椅子席にしたのが良かったのか、一中・泉丘時代の想い出、恩師の消息近況等話がはずみました。

やがてのど自慢の面々が、次々にマイクをとり、アコーディオンの伴奏で一中・泉丘の校歌、応援歌を歌うなど先輩後輩入り雑じっての大合唱に眺望絶佳の会場も割れんばかりでした。閉会の5時、飲み放題のビールに頬を赤らめた会員諸兄姉はお土産に配られた「あんころ」を手に来年の再会を誓って三々五々二次会場に向かいました。

後になりましたが1,900名の関西在住者に連絡頂いた名簿委員会の中川恒雄氏（泉丘18期）に深く感謝して筆を擱きます。　（浅井悦郎記）

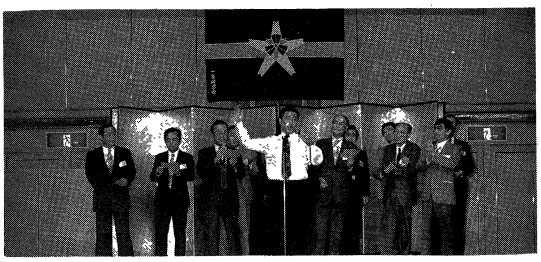
今年も6月5日㈯14時より同会場において関西一泉同窓会を開催します。多数のご参加をお待ちします。

平成4年度
一泉同窓会総会並びに
懇親会開かれる

平成4年10月15日午後3時から母校泉丘高校前庭の厳霜碑前で澁谷亮治同窓会会長はじめ同役員・会員・学校教職員等多数が参列して物故会員の冥福を祈った。

平成4年度の総会並びに懇親会は午後6時から金沢駅前の金沢全日空ホテル「鳳の間」で開かれた。ここ3年連続500名を越す会員が参加して催されている。

今年は泉丘11・12・21・22・31期が幹事期として運営が行われ、昨年評判のよかった友禅花太鼓を今年も採り入れて会場をぐっと盛りあげた。各期会員がつぎつぎと壇上に昇り校歌や応援歌をうたい雰囲気は最高潮。各テーブルではご招待の恩師（約20名）や旧友との語らいが続き、盛会裡に懇親会を終え散会した。



〝一泉同窓会旗・応援旗あります〟

一泉同窓会旗・金沢一中応援旗・泉丘高校応援旗を常備しています。一泉同窓会各期で会合をもたれる時などにご利用下さい。一泉同窓会事務局へご連絡頂ければお貸しします。

一泉桜美会会長
宮沢外與治先生逝去

宮沢先生が平成5年1月26日、金沢市寺町石田外科で91歳の天寿を全うされました。

先生は東京美術学校（現東京芸大）卒業後、昭和2年金沢一中の美術の先生として着任され、昭和37年までの35年間教鞭をとられました。本校一筋につとめられた先生は一泉同窓会の生き辞引き的存在であったことは勿論、一中・泉丘の美の同窓会である一泉桜美会を創設され、その会長として活躍されました。昨年9月の20回記念展ではお元気で展示等の指導もなされ、毎日会場に見えられ、教え子の輪の中で談笑されていました。いま、創立100周年記念美術展を目前にしておなくなりになったことは残念です。ご冥福をお祈りいたします。（高川義一記）

お願い

「同窓生の集い」へのご寄稿は、紙幅の都合もあり、400字以内でご執筆いただき、『一泉』編集室（一泉同窓会事務局内）までお送り下さい。写真を添えていただければ幸甚です。

＝あとがき＝

『一泉』は17号（1990・10・9発行）から体裁を改め創立100周年記念祭に向けて発行してきました。

そして、いよいよ『一泉』21号は「100周年特集号」。この『一泉』21号を以って、100周年記念行事・事業等に関する最後のご案内にかえさせていただきます。従いまして今回は、実行委員会事務局から全同窓生2万3,000名に送付します。

募金達成には、まだ皆様のお力添えをいただかねばなりません。100周年記念祭という大きな節目の大イベントの成功は、同窓生一人ひとり、そして全同窓生のご協力なくしてはあり得ません。この大きな節目の大イベントをバネに21世紀へと翔たこうではありませんか。〝ともかく　いらっしみまっし　よるまっし〟皆様のご支援を重ねてお願いします。

『一泉』編集室
高川　義一（室長　一中53期）
堀口　　渉（一中45期）　荒木澄子（泉丘3期）
浅香以都子（泉丘10期）　小林弘子（泉丘12期）
題字・坂野雄一（一中54期）